# ☆ 自閉症のある子どもの理解のために

自閉症のある子どもを理解するために、基本的な事項について、<u>「障害の</u>ある子供の教育支援の手引」を参考にしてまとめました。



#### 「自閉症」とは

自閉症とは、①他者との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする発達の障がいである。その特徴は、3歳くらいまでに現れることが多いが、成人期に症状が顕在化することもある。中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されている。

\*参考:自閉症のことを「DSM-5病名・用語翻訳ガイドライン」では、自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害(**a**utism **s**pectrum **d**isorder) としている。



自閉症の特徴の①から③は、具体的には、どういうことですか?

### ① 他者との社会的関係の形成の困難さ

①に関連して現れる行動としては、相手の気持ちや状況を考えず、自分の視点を中心に活動 しているように見えることがあります。

- 例) □ 自分の興味や関心のあることを質問し続ける。
  - □ 一人遊びに没頭している。
  - □ かかわり方が一方的で、ルールに沿った遊びが難しく、仲間関係をつくったり、 相手の気持ちを理解したりすることが難しい。

#### ② 言葉の発達の遅れ

②に関連して現れる行動としては、概して言語の理解や使用に発達の遅れが見られ、全く言葉を発しないこと、他者の言葉を模倣して言うこと(反響言語(エコラリア))が見られます。また、言語発達に遅れがなく、言語の使用が流暢な場合であっても、回りくどい話し方をするなど一般的な言葉遣いではない独特の話し方をすることもあります。

#### ③ 興味や関心が狭く特定のものにこだわる

③に関連して現れる行動としては、「特定のもの(こと)へのこだわり」や「同じもの(こと)へのこだわり」があります。

#### その他の特徴

- ・感覚の過敏性や鈍感性、刺激の過剰選択性
- ・情報を整理・統合して全体的な文脈に沿って処理することへの困難さ
  - 例) □ 人に触られることを嫌がる。けがへの痛みを感じていないように見える。
    - □ 細部に注目したり、話の全体ではなく特定の単語に注意を向けたりする。
    - □ 特定の人物の声や教室内の雑音に極端な恐怖を感じる。

<sup>\*</sup> 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「障害のある子供のための教育支援の手引~子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて~(令和3年6月) P243~

「③興味や関心が狭く特定のものにこだわる」について「障害のある子供の 教育支援の手引」から見てみましょう。



### こだわりについて

## 「特定のもの(こと)への こだわり」

水洗トイレや水道の蛇口、スイッチ類へのこだわり等、気になっているもの(こと)や気に入っているもの(こと)へのこだわりである。

## 「同じもの (こと) へのこだわり」

同じ道、同じ場所、同じやり方、同じ物へのこだわりは、状況などが理解できずに生じている不安を、慣れ親しんでいる同じ物で抑えている状況が多い。そのため、教師等が不用意に止めさせようとすると、子どもがパニックに至ることも少なくない。

学校の日課が急に変わると、適切に対応することができず、著しく動揺することもあります。 入学や進級、転居などでも、その変化には想像を超えた苦痛を伴うことがあります。

環境の変化に適応することが難しいために、その子どもなりのこだわり行動が表れていると 考えることが大切です。

「障害のある子供の教育支援の手引」には、自閉症のある子どもへの有効 な支援として、構造化についてまとめられています。一部紹介します。



## 自閉症のある子どもに対する支援としての構造化

構造化には決まった形はなく、子ども一人一人に合わせて分かりやすくすることが求められる。また、構造化は子ども一人一人の実態に応じて調整するものであり、定期的に見直しを図っていくことが重要である。子どもの状態によっては、構造化を一層行うことが必要な場合もあれば、構造化を取り外していく場合もある。

- ① 物理的な構造化 どの場所で何を行うのかを分かりやすくする。
- ② **時間の構造化** スケジュールを視覚的に示すことでどのような活動が、どのような順番で 続いていくかを理解できるようにする。
- ③ 活動の構造化 活動の流れを分かりやすくすることで、学習に集中しやすくする。
- ④ 一連の流れの構造化 手順のある事柄について、決まった手順で行えるようにする。
- ⑤ 課題の構造化 どのような手順で、どのように行い、どうなると終わるのかを分かりやすくする。



自閉症といっても、一人一人の実態は違います。「自閉症だから○○の支援」と決めつけた見取りや支援とならないように、丁寧な実態把握から考えたいですね。